

# 和歌山県立医科大学附属病院 循環器内科

## 当科の特徴

循環器内科は冠動脈疾患、心不全、不整脈、弁膜症、先天性心疾患などの心疾患、大血管疾患、末梢動静脈疾患などの血管疾患、肺高血圧、肺血栓塞栓症などの肺循環疾患に対して内科診療を行うプロフェッショナルです。

心血管病の診療は正しい診断から始まります。身体所見と心電図、胸部単純X線などの基本的検査を深読みして情報を集めます。超音波、心臓CT、MRIなど先端的診断機器を用い、必要に応じて心臓カテーテル、電気生理学的検査など侵襲的診断を追加して病態に迫ります。診断がついた後は治療です。薬物療法のみならず低侵襲手術を内科医が実施できるのが循環器内科の特色の一つです。具体的には経皮的冠動脈インターベンション、カテーテルアブレーション、ペースメーカ植え込み、経カテーテル的大動脈弁留置術など、従来は手術でしか治療できなかった疾患を内科医の手によって根本治療が可能です。

当科は、日常臨床の中で生じるクリニカルクエスションへの答えを追求するテーマに取り組んでおり、

学会発表、論文執筆、学位取得をサポートします。

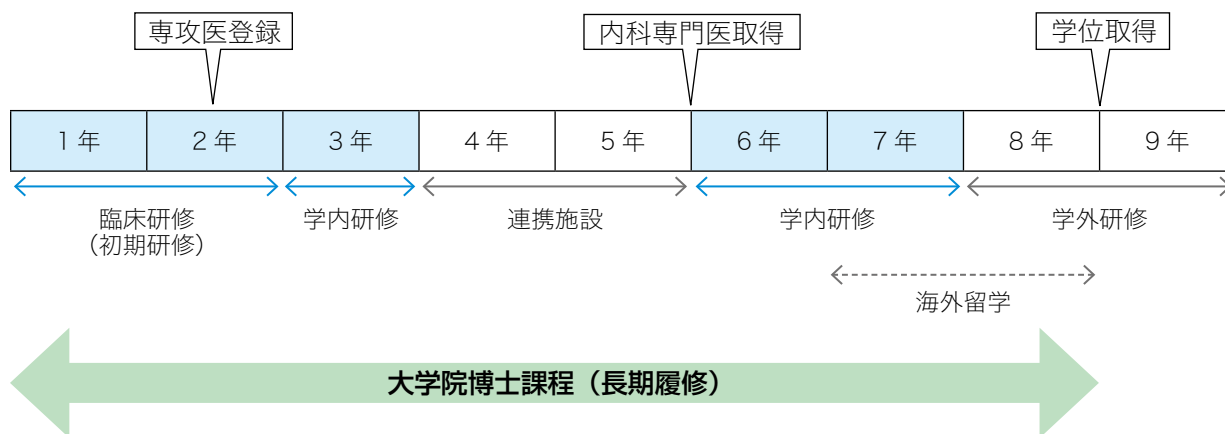
当科ではここに記載した全てを学んでいただくための、ソフト、ハード両面の体制が整っています。この領域をさらに発展させるために若い先生の活力は欠かせません。やる気に溢れた先生方のご参加お待ちしております。



## ローテーション例

### 一般枠コース

※ □ は学内研修



一般枠医師については原則プログラムのローテーションに従って研修を行います。

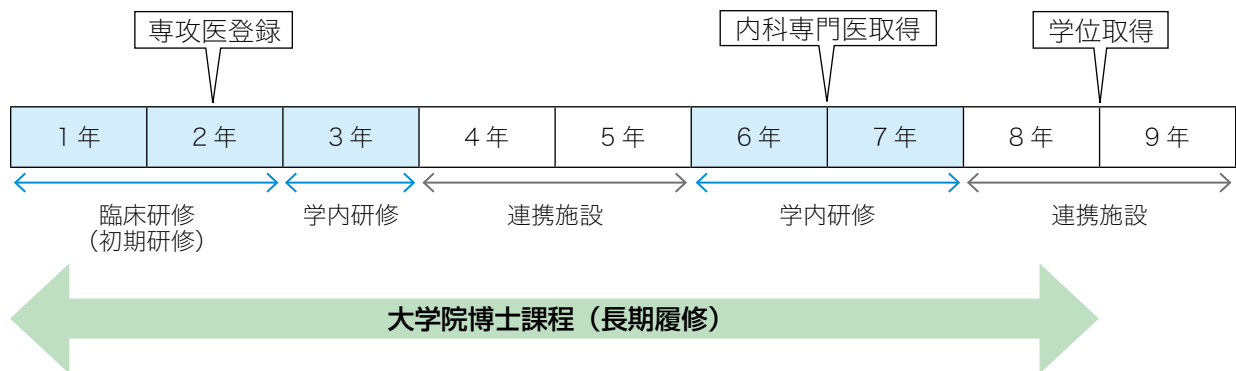
詳細は卒後臨床研修センター HP (<http://www.wakayama-med.ac.jp/med/sotugo/koki/koki-program.html>) に載っています

内科専門医取得後、循環器専門医を目指して研修を続けていきます。循環器専門研修の内、インターベンションや不整脈の研修に比重を置く期間（1年もしくは2年）を設けることで最短で卒後9年目に日本心血管インターベンション学会認定専門医、日本不整脈学会認定専門医などの取得を目指すことが可能です。希望により循環器専門医取得後に海外留学をすることも可能です。

## ローテーション例

## 県民医療枠コース

※ □ は学内研修

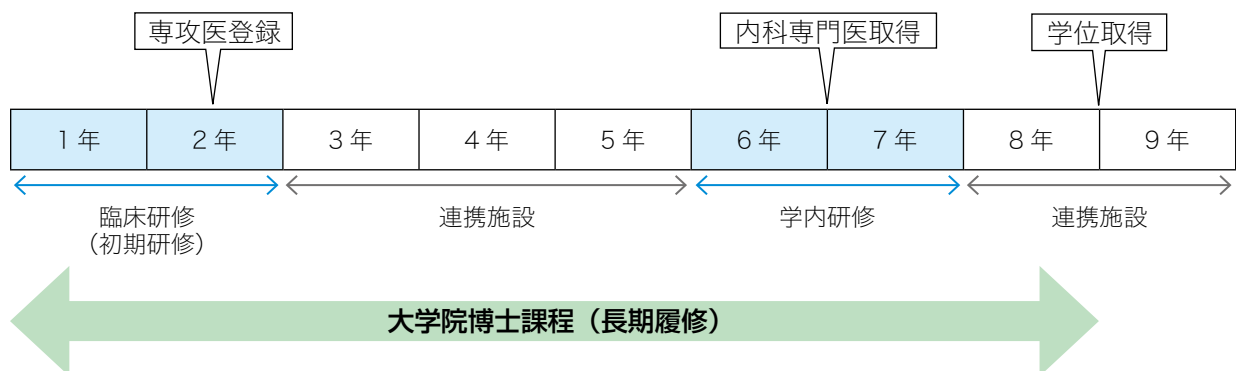


県民医療枠コースでは3年目は和歌山県立医科大学附属病院で研修を行います。4年目、5年目は地域中核病院で研修を行い、6、7年目には大学に戻ります。通常3年の内科専門研修をやや余裕を持って4年で修了し、循環器専門研修を3年で修了します。8、9年目には再度地域中核病院で後輩の指導を行いながら、地域中核病院で活躍できる医師を目指します。また、希望者は大学院に入学し、9年目には学位を取得することも可能です。また、希望により10年目以降海外留学も可能です。循環器全般の研修をしながらインターベンションや不整脈の研修に比重を置くことで10年目に日本心血管インターベンション学会認定専門医、日本不整脈学会認定専門医を取得することが可能です。

## ローテーション例

## 地域医療枠コース

※ □ は学内研修



地域医療枠コースでは臨床研修（初期研修）の後、3年から5年目まではへき地医療拠点病院等で内科専門研修を行い内科専門医取得を目指します。3年間の内科専門研修後、6、7年目には大学に戻り連続して循環器専門研修を開始します。8、9年目にはへき地医療拠点病院等で後輩の指導にあたりながら循環器内科のみならず、総合医や家庭医としてのスキルを磨いていきます。なお、循環器専門医は9年目に取得することができます。また、希望により9年目以降海外留学も可能です。

## 研修目標

まず内科医として、そして循環器内科医としての臨床能力を身につけていただきます。そのうえで循環器内科の sub speciality を専攻し、最終的には世界で唯一無二を目指す、すなわち研究遂行能力を習得していただきます。

## 教授からのメッセージ



### 田中 篤 教授

専門科の選択を真摯に考えておられる先生へ

人生の選択に if はなく、選ばなかった道がどうであったかわかりません。私は複数の尊敬する指導医から『君は循環器内科に適性がある』と勧められ、循環器内科を選びました。何れの仕事も真摯に取り組めば楽しくなってきます。むしろ適性の方が重要と思います。自分の適性は意外と把握出来ておらず、是非尊敬する指導医の話参考にされては如何でしょうか？

研修先の選択方針は、自分の成長を促してくれる指導者と環境の両方が整っている施設を選びましょう。循環器内科の仕事がきつuitと感じたことは一度もありませんが、自分の成長が感じられなかったときはつらい時代でした。

さて当科では、まず内科医としての臨床能力を身につけていただきます。大学病院では、珍しい内科疾患によく遭遇します。珍しい疾患を診断できる上級医が在籍しているからで、知らないを通り過ぎます。例えば当科では、私の留学先であるマサチューセッツ総合病院の有名な clinical case review

## 経験目標

日本内科学会や日本循環器学会の制度に準拠し、経験すべき症例数を担当することを目標とする。循環器専門医研修に関しては、「循環器専門医研修カリキュラム」（日本循環器学会ホームページ）に則って運用するが、カリキュラムは最低限必要なレベルを記載したものであり、習熟度と希望に応じて、より専門的な高度技術の研修を開始することも可能である。また、学会発表や論文作成などの学術活動を経験することも目標とする。

のような、実際に外来や病棟で経験された症例のプレゼンを行っていただき、指導医が診断のコツなどの解説を加えるというカンファレンスを週一回行っています。

次に循環器内科医として循環器疾患一般を診療できる能力の修得、すなわち循環器専門医を取得していただきます。虚血性心疾患、不整脈、心不全等の各疾患別チームをローテーションする事で、短期間で効率よく循環器内科医としての臨床能力を身につけていただきます。学年制ではなく単位制のようなプログラムのため、出産育児休暇が必要な医師、地域枠、県民枠の先生にも対応可能です。ここまではほぼ確立されたプログラムですので、まじめにさえ取り組んでいただければ到達可能です。

循環器専門医取得後は、カテーテルインターベンション・不整脈・非侵襲的診療などの subspecialty の指導を本人の希望および適性に基づき行っています。また研究や学位取得の指導にも力をいれています。様々な研究プログラムを用意していますので、地域枠や出産育児休暇が必要な医師への研究指導も可能です。さらに、国内・海外留学を奨励し援助を惜しみません。当科には海外一流施設への留学経験のある先生が数多く在籍しています。

もし質問や相談があれば気軽に教授室のドアをノックして下さい。いつでも相談にのることを約束します。



総回診風景



総回診風景

当科で取得可能な専門医と指導体制

研修施設	循環器専門医	内科専門医	インターベンション専門医	不整脈専門医	超音波専門医
和歌山県立医科大学附属病院	13名	9名	1名	1名	2名
和歌山ろうさい病院	3名	1名	0名	0名	0名
済生会和歌山病院	2名	2名	0名	0名	0名
海南医療センター	2名	2名	0名	0名	0名
公立那賀病院	0名	0名	0名	0名	0名
新宮市立医療センター	5名	4名	0名	0名	0名
橋本市民病院	2名	0名	1名	0名	0名
ひだか病院	5名	4名	0名	1名	0名
有田市立病院	1名	0名	0名	0名	0名
紀南病院	1名	1名	0名	0名	0名
国立病院機構南和歌山医療センター	1名	1名	0名	0名	0名



病棟業務風景



ベッドサイド心エコーの指導風景



ハイブリッド手術室



経皮的冠動脈形成術施行風景



カテーテルアブレーション施行風景



実験室